

## 利賀村の医療

農協高岡病院第一内科

和田 美知子

利賀村は人口約1,900人、戸数約350戸、平、上平村と共に五ヶ三村を形成し、富山県の最南端に位置する。標高凡そ550m、起伏に富んだ地形で、利賀川、百瀬川に沿って東西20km、南北52kmにわたり、約13の小部落が散在する。富山県有数の豪雪地帯で、毎年3~5mの雪が降り、ほぼ半年は雪に埋まる。気候は寒冷であり、夏でも汗ばむ日は数日しかなく、クーラー、扇風器も殆ど必要としない。四年間の利賀診療所における診療を通して、これらの地形、気候が疾病と密接な関係があることを知った。即ち、外来患者の半数近くを占めるのは、呼吸器疾患であり、次には膝腰等の関節痛、神経痛、高血圧性疾患と続いている。

年次別カルテ総数と多い疾患 (表1)

年次	S 43	44	45	46 (7月迄)
カルテ数				
総数	1,188	1,256	1,168	760
呼吸器疾患	429	573	457	335
腰関節疾患	166	192	194	108
高血圧症	137	183	123	82

9~11月 2月 6月  
麻疹 インフル 麻疹  
          エンザ  
          9月  
          水痘

呼吸器疾患は、感冒、ウイルス性疾患、扁桃炎、気管支炎、肺炎等を含み、乳幼児から高年に至る全年令層にわたって、年中多発する。特に、ウイルス性疾患では、爆発的に流行することがあり、昭和42年6月麻疹、昭和43年2月インフルエンザ9月から11月に麻疹、昭和44年9月水痘、昭和45年6月麻疹の流行を見た。扁桃炎、扁桃肥大の子供は多く、例えば中学生徒では144人中62人に認められる。蛋白尿、関節痛のあるものは現在の処認めなかった。以前は結核も多かったそうだが、現在は老人結核として若干のこっている。(予防法

申請4~5人)腰痛、膝関節痛、神経痛は中高年に多い。これは過重労働プラス、上り下りの多い地形も関係していると思われる。一旦は軽快しても、労働で又再発し、持病のようにになっている人が多い。高血圧性疾患は、高年層を中心に多くなり、60才以上のほぼ3分の1は高血圧である。一般に本態性高血圧が多く、治療によく反応する。眼底はKWII度程度が多い。高血圧性疾患は、昭和45年からやや減少傾向あり、46年の脳血管障害後遺症患者は11人で、前年の7人に比して増加している。以前は卒中発作で、そのまま死亡するケースが多かった。

4年間の死亡者の死因を調べてみると、脳血管障害が全死因の約28%を占め、高年者の高血圧が死につながっていることを示している。2~3位の肺炎、心疾患も呼吸器疾患、リウマチ性疾患の多いことからよく理解できる。悪性腫瘍は、胃癌、肝癌が多い。

昭和42年4月~昭和46年8月迄死亡者死因調査 (表2)

年次	42	43	44	45	46	計
脳血管障害	4	4	4	6	6	24
肺炎	2	1		1	6	10
心疾患	1	1	2	3	2	9
悪性腫瘍		5	1	1		7
老衰	2	1	1	2		6
事故死			2	3		5
自殺		1				1
腎疾患		1				1
胃潰瘍		1				1
外妊					1	1
計	9	15	10	16	15	65

利賀村のもう一つの特異な点は、人口に比して

精神障害者の多いことである。即ち、1,900人中約30人の異常者があり、精神薄弱、てんかん、分裂病、そううつ病、ノイローゼ等の患者が日陰者として、家に寄食している例が多い。昔からの閉鎖的な環境の故に、村内での血族結婚が多かったこともその原因の一つではないだろうか。患者は血族結婚の多い部落に多発して居り、姉妹3人が精薄で、肢体不自由といった例もある。その他、糖尿病、色盲等も見かけている。

診療所で種々の疾患を診ながら、これ等の疾患を何とか予防できないかと考え、その為には村民の生活実態の把握が必要だったので、種々のアンケートを行なった。それに依ると、(1)昔に比べて生活環境は可成向上し、特に電化製品、自家用車は、驚くほど普及している。(2)村人は、早起きで、積極的によく働いているが、過労気味であり何らかの自覚症状を有するものが大半を占めている。

針やきゅう、売薬への依存度が高い。(3)食生活において、蛋白質、ビタミンは摂取不足、食塩は過剰摂取である。即ち、卵は200個程度の箱単位で購入する家が多いので割合食べているが、豚、牛魚肉は少なく、豆腐は山でつくれるのに意外に食べていない。牛乳は3分の1位の家で毎日飲んでいるが、冬期は交通の便が悪く飲めなくなる。

電気製品に関するアンケート (表3)

総戸数	350	
アンケート回答	275	
電気洗濯機	247	90%
ステンレス流し台	181	66%
自家用車	165	59%
電気冷蔵庫	146	53%
カラーテレビ	142	52%

特来買いたい電気製品

- 1位 電気冷蔵庫
- 2位 電子レンジ
- 3位 電気温水器
- 4位 カラーテレビ
- 5位 電気掃除機

食塩は、山菜の保存料に使用されたり、高比重の味噌の中に入ったり、日常よく食べられる漬物の中に入ったりで、摂取過剰である。飲酒の習慣が

強いどなのことが理解され、労働条件の改善、衛生思想の普及、食生活の向上が必要であり、それによって、更に疾病を減らし、健康増進させ得ると考えられる。

又、このような山間の閉鎖的な村では、冬期新鮮野菜、魚肉の確保、緊急患者の輸送、道路整備といった政治的配慮が必要であり、催し物や、保健婦活動を通じて、村民自らで健康を守ろうとする意識を盛り上げて行かねばならない。これからの医師の使命は疾病の治療とともに、その予防活動に、意を用いなければならないということを痛感した次第である。

(表4)

何時に起きるか

4時	15%
4時半	41%
5時	34%
5時半	1.4%
6時	0.4%
返答なし	8.2%

何時に寝るか

8時	1.1%
9時	16%
10時	52%
11時	12%
返答なし	18.9%

起床時疲れが  
のこっているか

疲れる	65.7%
時々疲れる	2.2%
疲れしない	23%
返答なし	9.1%

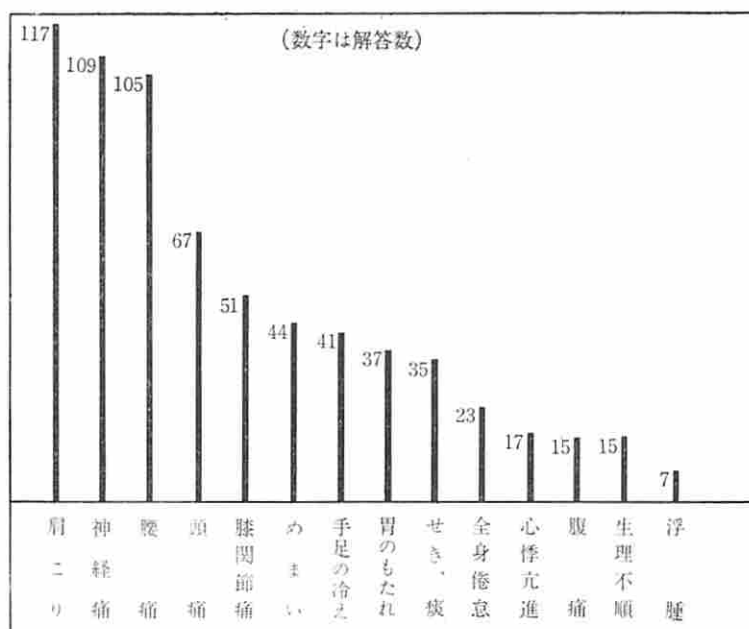
売薬を一年どの位  
使うか

1,000円以下	6%
1,000~3,000	31%
3,000~5,000	27%
5,000円以上	32%
返答なし	4%

針やきゅうを  
したことがあるか

したことあり	50%
したことなし	47%
返答なし	3%

(表 5) 日常どんな自覚症状があるか



日常自覚症状の有無

有	74%
無	26%

(表 6)

牛乳1本飲む回数

0回/週	9%
1回/週	4%
2回/週	6%
3回/週	2%
4回/週	3%
5回/週	4%
6回/週	2%
7回/週	34%
返答なし	36%

一人当たり卵何ヶを食べるか

0ヶ/週	0%
1ヶ/週	4%
2ヶ/週	8%
3ヶ/週	16%
4ヶ/週	12%
5ヶ/週	24%
6ヶ/週	5%
7ヶ/週	26%
返答なし	5%

豆腐を何回食べるか

0回/週	0%
1回/週	24%
2回/週	25%
3回/週	20%
4回/週	9%
5回/週	6%
6回/週	1.1%
7回/週	3.3%
返答なし	11.6%

晩酌はどれだけか

飲まない	10%
1合	46%
2合	25%
3合	4%
4合	0%
5合	0.3%
ビール1本	2.2%
返答なし	12.5%

## 副食はどの位か

一汁一菜	3%
一汁二菜	26%
一汁三菜	38%
それ以上	9%
返答なし	24%

## 漬物は一年中あるか

有	85%
無	11%
返答なし	4%

1月豚肉を  
何回食べるか

0回	49%
1回	16%
2回	5%
3回	0.7%
4回	6.6%
5回	0.7%
6回	0%
7回	0%
8回	1%
9回	0%
10回	1%
返答なし	20%

1月牛肉を何回  
食べるか

0回	47%
1回	16%
2回	6%
3回	3%
4回	4%
5回	0.4%
6回	0%
7回	0%
8回	1.5%
9回	0%
10回	1%
返答なし	21.1%

1月魚を何回  
食べるか

0回	5%
1回	37%
2回	17%
3回	0.7%
4回	4.7%
5回	1%
6回	0.4%
7回	0%
8回	1%
9回	0%
10回	14%
返答なし	19.2%

1月果物を何回  
食べるか

0回	1%
1回	8%
2回	14%
3回	18%
4回	11%
5回	11%
6回	0.7%
7回	4%
8回	0%
9回	0%
10回	11%
返答なし	21.3%